

## 規則の改正点について

2014年3月 現在  
日本ジェットスポーツ連盟

アンダーライン部分が変更箇所です。

>

|    | 2014年度   | 2013年度   |
|----|--|--|
|    | ジェットスポーツ国内競技規則<br>1992年9月4日制定<br>2014年1月1日改正   | ジェットスポーツ国内競技規則<br>1992年9月4日制定<br>2013年1月1日改正   |
| 追記 | 307 その他<br>9 <u>参加者だけでなく、サポーターについても、刺青(ファッションタトゥーも含む)を露出した状態で、レース会場を歩き回ってはならない。</u><br><u>反社会的勢力関係の方の大会参加は出来ない。</u>  | 307 その他  |
| 追記 | 802 エンジン関係<br>8 <u>エンジンマウントは社外品を使用して良い</u><br><u>スターターモーターは社外品を使用して良い。</u>   | 802 エンジン関係   |
| 変更 | 850 ストッククラス(STK)<br>5 <u>純正部品は、同一機種の新旧純正部品と交換してよい。</u> 交換部品は、許可された交換、改造の規則を除き、当該部品または他の部品を改造すること無しに、取り付けなければならない。  | 850 ストッククラス(STK)<br>5 純正部品は、同一機種の新しい純正部品と交換してよい。交換部品は、許可された交換、改造の規則を除き、当該部品または他の部品を改造すること無しに、取り付けなければならない。 |
| 追記 | (2)ランナバウトの重量はホモログを受けた純正重量より15.88キロを下回ってはいけない。  |  |
| 追記 | 7 エンジン本体系統<br>(ランナバウト4ストローク)<br>(2) カムシャフトのタイミングは変更してよい。ただし、純正品とし、カムシャフト本体を加工してはならない。<br>(3) フュエルプレッシャーレギュレーターは社外品または、改造してよい。<br>(4) パルプスプリングリテーナーは社外品を使用してよい。   | 7 エンジン本体系統<br>(4ストローク)   |
| 追記 | 9 排気系統<br>(ランナバウト4ストローク)<br>(4) 以前に穴あけやタッピングされたエキゾーストマニホールドは穴埋めや閉栓をする事により使用してよい。   | 9 排気系統   |
| 変更 | 10 冷却及び排水系統<br>(2ストローク)  | 10 冷却及び排水系統<br>(2・4ストローク)  |
| 追記 | (1) 規則802以外の改造は、行ってはいけない。<br>(ランナバウト4ストローク)<br>(1) 冷却水制御装置<br>(イ) <u>冷却水供給ラインは、加工したり追加してよい。ただし、純正の供給ラインの径を変更してはならない。</u><br>(ロ) <u>バルブは、社外品を使用してよい。ただし、固定式または自動式(例:サーモスタット、圧力弁、ソレノイド等)のもので無ければならない。</u><br>(ハ) <u>冷却作動中に、水の流れを変更する為の手動式制御装置は、取り付けてはならない。</u><br>(ニ) <u>インタークーラーの冷却用の追加ラインは純正品に直接取り付けよう。</u><br>(3) <u>バイパスフィッティング</u><br>(イ) <u>改造、取り付け位置の変更及び社外品を使用してよい。また、追加したり、位置を移動してよい。</u><br>(ロ) <u>排水出口は、他のライダーに危険を生じないように、下方/後方に向けなければならない。</u> | (1) 規則802以外の改造は、行ってはいけない。  |
| 削除 | 11 電気系統<br>(2・4ストローク)  | 11 電気系統<br>(2・4ストローク)<br>(ハ) 4ストロークT/S付きの艇は、電装関係は純正を使用しなければならない。   |

|    |   |   |
|----|---|---|
| 追記 | (ランナバウト4ストローク)<br><u>(1)純正ECUを改造してよい。純正コネクタに接続できるものであればリミッターを解除するものをつけてよい。但し、追加センサーは認めない。エンジン温度センサーは作動しなくても良い。</u>    |   |
| 追記 | 12 艇体系統 (2・4ストローク)<br>(2)<br>(ヌ)トリムタブは同一形状の社外品を使用してよい。素材は変更してよい。  | 12 艇体系統 (2・4ストローク)<br>(2)   |
| 追記 | 900 オープンクラス<br>2 競技艇<br>(4)重量はスキークラス 114kg、スポーツクラス 136kg<br>ランナバウト800クラス 182kg <u>ランナバウトクラス 340.2kg</u><br>を下回ってはいけない | 900 オープンクラス<br>2 競技艇<br>(4)重量はスキークラス 114kg、ランナバウトクラス 216kgを下回ってはいけない。 |
| 追記 | (5)スキークラス<br><u>船体の最大幅を762mmまでとする。</u><br><u>後部ボンドレールの一部分を危険の無いように取り除いてよい。</u>  |   |

#### P・A R/Aストック クラスについて

2014年より P R/Aクラス、 A R/Aクラスとして名称変更して別クラスとして行ないます。

参加者が少ない場合にはPとAの混走となりますが、表彰は分けます。

現プロ資格(R/A, SKI)の方は参加可能です。

2013年度昇格者はプロ資格が取れますが、オープンクラスには参加出来ません。参加はP R/Aのみです。

2014年度成績上位者は2015年にオープンへの参加可能となります。

A級(R/A, SKI)の参加者は従来通り A R/Aクラス、 A R/A SLTDクラスに参加可能です。

A級の昇格について

|               |               |
|---------------|---------------|
| A R/Aクラス      | P R/Aクラス      |
| A R/A SLTDクラス | P R/A オープンクラス |
|               | P R/A クラス     |

#### P W SKI A W SKI について

P W SKI A W SKIはLTDからSLTDに変更になりました。

#### スパーク クラスについて

今年よりBRP社製のスパーク使用のレースを行ないます。

新規参加者は(B級)通常どおり講習を受けて選手登録する。

スパーククラスのみ参加の場合には競技艇登録は無くてもよい、チームに入らなくても参加できる。

チームに入ってる場合にはチームポイントを付ける。

**艇の改造はスポンソンの交換のみとする。**

艇ゼッケンは青バック、白文字で登録順に番号をとる。指定ゼッケンは有料とする。昇格はなし。

**賞金** 1戦～8戦 各レース1位 5万円、2位 3万円、3位 1万円、  
年間チャンピオンに20万円、2位 10万円、3位 5万円 の賞金があります。

スパークで通常のレースに参加する場合には R/A800オープンクラスとなり、改造はSLTDまでです。  
この場合にはチーム、艇登録は必要となります。

#### 指定ゼッケンについて

今年よりP, A, B級について年間指定ゼッケン(2桁まで)を受付けることとなりました。

年間指定ゼッケン申請書にて申請してください。 指定ゼッケン¥5000

希望番号が重複した場合には成績上位者が優先となります。

#### エントリー代について

本年度より大会のエントリー費を1割値上することとなりました。